事業用自動車の交通事故統計（令和４年版）
［第１分冊］

概　要　版

令和６年３月
国土交通省　物流・自動車局

目　　次

１．事故全体の傾向 1
１－１．交通事故全体の推移 1
１－２．自動車事故件数の推移 2
１－３．自動車事故死者数の推移 4
１－４．自動車死亡事故件数の推移 7
１－５．飲酒運転による事業用自動車の交通事故の推移 9
１－６．業態別運転者年齢層別の交通事故 10
１－７．業態別危険認知速度別の交通事故 12
１－８．業態別時間帯別の交通事故 13
１－９．交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通事故件数 14
２．まとめ 16

【凡 例】

１.「交通事故」とは、道路交通法第２条第１項第１号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）をいう。物損事故については計上していない。

２.「自動車事故」とは、交通事故のうち、自動車及び軽自動車の交通によって起された事故をいう。

３.「自動車事故」は、「事業用自動車」の事故と、「自家用自動車」の事故に分けられる。うち、「自家用自動車」とは、乗用車（バス、マイクロ、普通乗用車、軽乗用車）及び、貨物車（大型貨物、中型貨物、準中型貨物、普通貨物、軽貨物、トレーラー）を合わせたものをいう。

４.「死亡」（「死者」）とは、交通事故によって、発生から 24 時間以内に亡くなった場合（人）をいう。

５.「重傷」（「重傷者」）とは、交通事故によって負傷し、１ヶ月（30日）以上の治療を要する場合（人）をいう。

６.「軽傷」（「軽傷者」）とは、交通事故によって負傷し、１ヶ月（30日）未満の治療を要する場合（人）をいう。

７.「負傷」（「負傷者」）とは、「重傷」（「重傷者」）と「軽傷」（「軽傷者」）の合計をいう。

８.「貨物自動車」の分類は道路交通法に基づくものとする。
大型　：車両総重量11トン以上、または最大積載量6.5トン以上
中型　：車両総重量7.5トン以上11トン未満、または最大積載量4.5トン以上6.5トン未満
準中型：車両総重量3.5トン以上7.5トン未満、または最大積載量２トン以上4.5トン未満
普通　：車両総重量3.5トン未満、または最大積載量２トン未満
軽　　：貨物自動車のうち、軽自動車であるもの

１．事故全体の傾向

１－１．交通事故全体の推移

自動車に加え、二輪車や自転車等を含む「交通事故全体」と、「事業用自動車」の交通事故の推移を、「交通事故件数」、「交通事故死者数」、「交通死亡事故件数」の３つを比較した。

（１） 交通事故件数の推移

令和４年中に全国で発生した交通事故全体の件数は300,839件であり、そのうち、事業用自動車は23,259件であった。

なお、事業用自動車については、「事業用自動車総合安全プラン2025（令和３年３月）」において、令和７年までに人身事故件数を16,500件以下とする削減目標が示されている。

〔表 1〕 交通事故件数の推移（件）

区分／年	交通事故件数	
	交通事故全体	事業用
H25	629,033	42,425
H26	573,842	39,649
H27	536,899	36,499
H28	499,201	33,336
H29	472,165	32,655
H30	430,601	30,818
R1	381,237	27,884
R2	309,178	21,871
R3	305,196	22,027
R4	300,839	23,259

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 交通事故死者数の推移

令和４年中に全国で発生した交通事故全体における死者数は2,610人であり、そのうち、事業用自動車での交通事故死者数は228人となっている。

なお、事業用自動車については、「事業用自動車総合安全プラン2025」において、令和７年までに事業用自動車での死者数を225人以下とする削減目標が示されている。

〔表 2〕 交通事故死者数の推移（人）

区分／年	死者数	
	死者数全体	事業用
H25	4,388	434
H26	4,113	421
H27	4,117	403
H28	3,904	363
H29	3,694	353
H30	3,532	337
R1	3,215	333
R2	2,839	257
R3	2,636	249
R4	2,610	228

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（３） 交通死亡事故件数の推移

令和４年中に全国で発生した交通死亡事故全体の件数は2,550件であり、前年と比べて33件減少している。そのうち、事業用自動車は222件であり、前年と比べて19件減少している。

〔表 3〕　交通死亡事故件数の推移（件）

区分 年	死亡事故件数	
	死亡事故全体	事業用
H25	4,293	418
H26	4,013	408
H27	4,028	399
H28	3,790	336
H29	3,630	344
H30	3,449	328
R1	3,133	326
R2	2,784	253
R3	2,583	241
R4	2,550	222

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

１－２．自動車事故件数の推移

「事業用自動車」「自家用自動車（自家用のバス、乗用車及びトラックをいう。以下同じ）」及び「自動車全体（事業用自動車と自家用自動車を合わせたものをいう。以下同じ）」について、「交通事故件数」「交通事故死者数」「交通死亡事故件数」の３つを比較した。

（１） 自動車事故件数の推移

令和４年中に全国で発生した自動車全体の交通事故件数は266,032件であり、そのうち、自家用自動車は242,772件、事業用自動車は23,260件となっている。

〔表 4〕　自動車事故件数の推移（件）

区分 年	自動車全体	自家用	事業用
H25	566,364	523,939	42,425
H26	518,263	478,614	39,649
H27	487,503	451,004	36,499
H28	454,379	421,043	33,336
H29	428,493	395,838	32,655
H30	389,961	359,143	30,818
R1	343,209	315,325	27,884
R2	275,999	254,128	21,871
R3	271,410	249,383	22,027
R4	266,032	242,772	23,260

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 事業用自動車の業態別交通事故件数の推移

事業用自動車の交通事故件数を業態別にみると、令和４年は前年と比べて全ての業態で増加している。

なお、事業用自動車については、「事業用自動車総合安全プラン2025」において、令和７年までに、バスの事故件数を800件以下、タクシーの事故件数を6,600件以下、トラックの事故件数を9,100件以下とする削減目標が示されている。

〔表 5〕 事業用自動車の業態別交通事故件数の推移（件）

区分／年	バス	乗合バス	貸切バス	その他	タクシー	トラック
H25	2,164	1,751	388	25	17,799	22,462
H26	1,972	1,578	374	20	16,113	21,564
H27	1,772	1,443	317	12	14,902	19,825
H28	1,556	1,239	302	15	13,526	18,254
H29	1,498	1,217	276	5	13,171	17,986
H30	1,468	1,141	308	19	11,954	17,396
R1	1,282	1,040	234	8	10,996	15,606
R2	912	813	95	4	7,459	13,500
R3	875	780	92	3	7,121	14,031
R4	928	803	118	7	7,948	14,383

※平成29年以降、乗車定員11人未満であり路線定期運行を行う業態は、乗合バスとして計上している。
（業態別の統計については、以下同様）

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（３） 走行距離１億キロあたり自動車事故件数の推移

走行距離あたりの自動車事故件数は、自動車全体、自家用自動車、事業用自動車のいずれも近年減少傾向となっており、10年間で半分程度となっているが、令和４年は前年と比べて事業用自動車が増加した。

〔表 6〕 走行距離と自動車事故件数の推移

区分／年	事故件数(件)			走行距離(億km)		
	自動車全体	自家用	事業用	自動車全体	自家用	事業用
H25	566,364	523,939	42,425	7,249.1	6,441.5	807.6
H26	518,263	478,614	39,649	7,200.8	6,392.3	808.5
H27	487,503	451,004	36,499	7,137.1	6,332.5	804.7
H28	454,379	421,043	33,336	7,345.8	6,548.7	797.1
H29	428,493	395,838	32,655	7,354.2	6,560.7	793.5
H30	389,961	359,143	30,818	7,451.7	6,660.2	791.5
R1	343,209	315,325	27,884	7,506.4	6,716.3	790.1
R2	275,999	254,128	21,871	6,846.8	6,137.2	709.7
R3	271,410	249,383	22,027	6,563.5	5,844.5	719.0
R4	266,032	242,773	23,259	6,767.2	6,025.7	741.5

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

（４） 走行距離１億キロあたり事業用自動車の業態別交通事故件数の推移

走行距離あたりの事業用自動車の交通事故件数は令和３年は全ての業態で前年と比べて増加したが、令和４年はトラックのみ前年と比べて増加した。そのうち、タクシーが突出して多いが、前年からは減少した。

〔表 7〕 事業用自動車の業態別走行距離と交通事故件数の推移

区分／年	事故件数（件）							走行距離（億km）					
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	自動車全体	バス	乗合	貸切	タクシー	トラック	自動車全体
H25	2,164	1,751	388	25	17,799	22,462	566,364	46.0	30.5	15.5	111.4	650.1	7,249.1
H26	1,972	1,578	374	20	16,113	21,564	518,263	45.8	31.2	14.6	108.8	653.9	7,200.8
H27	1,772	1,443	317	12	14,902	19,825	487,503	45.5	31.8	13.8	105.4	653.7	7,137.1
H28	1,556	1,239	302	15	13,526	18,254	454,379	44.5	31.5	13.0	100.1	652.5	7,345.8
H29	1,498	1,217	276	5	13,171	17,986	428,493	43.9	31.3	12.6	96.7	652.8	7,354.2
H30	1,468	1,141	308	19	11,954	17,396	389,961	42.4	30.2	12.1	91.5	657.6	7,451.7
R1	1,282	1,040	234	8	10,996	15,606	343,209	42.4	30.3	12.1	85.1	662.5	7,506.4
R2	912	813	95	4	7,459	13,500	275,999	32.2	26.6	5.6	55.5	622.0	6,846.8
R3	875	780	92	3	7,121	14,031	271,410	27.7	23.1	4.6	47.5	643.8	6,563.5
R4	928	803	118	7	7,948	14,383	266,032	31.9	25.2	6.7	55.5	654.1	6,767.2

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

１－３．自動車事故死者数の推移

（１） 自動車事故死者数の推移

令和４年中に全国で発生した自動車全体の交通事故死者数は1,983人である。そのうち、事業用自動車は228人であり、令和４年は前年より21人減少している。

〔表 8〕 自動車事故死者数の推移（人）

区分／年	自動車全体	自家用	事業用
H25	3,402	2,968	434
H26	3,247	2,826	421
H27	3,214	2,811	403
H28	3,043	2,680	363
H29	2,836	2,484	352
H30	2,719	2,382	337
R1	2,476	2,143	333
R2	2,065	1,808	257
R3	1,985	1,736	249
R4	1,983	1,755	228

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移

事業用自動車の交通事故死者数を業態別にみると、トラックが大半を占めている。令和４年は前年と比べて、タクシーと貸切バスが増加している。貸切バスは、軽井沢スキーバス事故があった平成28年に増加したものの、近年は横ばい傾向となっている。タクシーは11人増加している。

なお、事業用自動車については、「事業用自動車総合安全プラン2025」において、令和７年までに、バスの交通事故死者数を10人以下、タクシーの交通事故死者数を25人以下、トラックの交通事故死者数を190人以下とする削減目標が示されている。

〔表 9〕　事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移（人）

区分／年	バス	乗合バス	貸切バス	その他	タクシー	トラック
H25	17	13	3	1	41	376
H26	18	15	3	0	42	361
H27	17	14	3	0	49	337
H28	24	6	17	1	52	287
H29	15	11	3	1	39	299
H30	16	13	3	0	48	273
R1	15	6	9	0	47	271
R2	10	9	0	1	16	231
R3	9	8	1	0	11	229
R4	5	3	2	0	22	201

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（３） 走行距離１億キロあたり自動車事故死者数の推移

走行距離あたりの自動車事故死者数は、近年減少傾向となっているが、令和４年は前年と比べて自動車全体、自家用、事業用すべてが減少している。

〔表 10〕　自動車事故死者数と走行距離の推移

区分／年	死者数(人)			走行距離(億km)		
	自動車全体	自家用	事業用	自動車全体	自家用	事業用
H25	3,402	2,968	434	7,249.1	6,441.5	807.6
H26	3,247	2,826	421	7,200.8	6,392.3	808.5
H27	3,214	2,811	403	7,137.1	6,332.5	804.7
H28	3,043	2,680	363	7,345.8	6,548.7	797.1
H29	2,836	2,484	352	7,354.2	6,560.7	793.5
H30	2,719	2,382	337	7,451.7	6,660.2	791.5
R1	2,476	2,143	333	7,506.4	6,716.3	790.1
R2	2,065	1,808	257	6,846.8	6,137.2	709.7
R3	1,985	1,736	249	6,563.5	5,844.5	719.0
R4	1,983	1,755	228	6,767.2	6,025.7	741.5

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

（４） 走行距離１億キロあたり事業用自動車の業態別交通事故死者数の推移

走行距離あたりの事業用自動車の業態別交通事故死者数は、令和４年は前年と比べて、タクシーと貸切バスは増加し、トラックと乗合バスは減少している。貸切バスが増加している平成28年は、軽井沢スキーバス事故の影響によるものである。

〔表 11〕 事業用自動車の業態別交通事故死者数と走行距離の推移

区分／年	死者数（人）						走行距離（億km）				
	バス				タクシー	トラック	バス			タクシー	トラック
		乗合	貸切	その他				乗合	貸切		
H25	17	13	3	1	41	376	46.0	30.5	15.5	111.4	650.1
H26	18	15	3	0	42	361	45.8	31.2	14.6	108.8	653.9
H27	17	14	3	0	49	337	45.5	31.8	13.8	105.4	653.7
H28	24	6	17	1	52	287	44.5	31.5	13.0	100.1	652.5
H29	15	11	3	1	39	299	43.9	31.3	12.6	96.7	652.8
H30	16	13	3	0	48	273	42.4	30.2	12.1	91.5	657.6
R1	15	6	9	0	47	271	42.4	30.3	12.1	85.1	662.5
R2	10	9	0	1	16	231	32.2	26.6	5.6	55.5	622.0
R3	9	8	1	0	11	229	27.7	23.1	4.6	47.5	643.8
R4	15	3	2	0	22	201	31.9	25.2	6.7	55.5	654.1

（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

（５） 事業用自動車の業態別交通事故死者数と30日以内死者数

死者数に対する30日以内死者数（交通事故によって、発生から30日以内に亡くなった人数）の増加率は、タクシーが36.4%、トラックが12.9%、バスは同数となっている。

〔表 12〕事業用自動車の業態別交通事故死者数（人）と 30 日以内死者数（人）（令和４年）

		死者数	30日以内死者数
バス	乗合	3	3
	貸切	2	2
	その他	0	0
	計	5	5
タクシー	法人	19	25
	個人	3	5
	その他乗用	0	0
	計	22	30
トラック	大型	106	114
	中型	35	40
	準中型	28	33
	普通	5	6
	軽	27	34
	計	201	227

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

１－４．自動車死亡事故件数の推移

（１） 自動車死亡事故件数の推移

令和４年中に全国で発生した自動車全体の交通死亡事故件数は 1,926件であり、そのうち、自家用自動車は 1,704件、事業用自動車は 222件となっている。

〔表 13〕 自動車死亡事故件数の推移（件）

年＼区分	自動車全体	自家用	事業用
H25	3,320	2,902	418
H26	3,149	2,741	408
H27	3,099	2,700	399
H28	2,934	2,598	336
H29	2,777	2,433	344
H30	2,644	2,316	328
R1	2,396	2,070	326
R2	2,017	1,764	253
R3	1,935	1,694	241
R4	1,926	1,704	222

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移

事業用自動車の交通死亡事故件数を業態別にみると、トラックが大半を占めている。令和４年は前年と比べて、タクシーと貸切バスが増加している。タクシーは11件増加している。

〔表 14〕 事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移（件）

年＼区分	バス				タクシー	トラック
		乗合バス	貸切バス	その他		
H25	17	13	3	1	40	361
H26	17	14	3	0	42	349
H27	17	14	3	0	49	333
H28	11	6	4	1	50	275
H29	15	11	3	1	39	290
H30	16	13	3	0	46	266
R1	14	5	9	0	47	265
R2	10	9	0	1	16	227
R3	9	8	1	0	11	221
R4	4	2	2	0	22	196

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（３） 走行距離１億キロあたり自動車死亡事故件数の推移

走行距離あたりの自動車死亡事故件数は、近年減少傾向となっている。令和４年は事業用自動車、自動車全体、自家用自動車のすべてが減少した。

〔表 15〕 自動車死亡事故件数と走行距離の推移

年＼区分	死亡事故件数(件)			走行距離(億km)		
	自動車全体	自家用	事業用	自動車全体	自家用	事業用
H25	3,320	2,902	418	7,249.1	6,441.5	807.6
H26	3,149	2,741	408	7,200.8	6,392.3	808.5
H27	3,099	2,700	399	7,137.1	6,332.5	804.7
H28	2,934	2,598	336	7,345.8	6,548.7	797.1
H29	2,777	2,433	344	7,354.2	6,560.7	793.5
H30	2,644	2,316	328	7,451.7	6,660.2	791.5
R1	2,396	2,070	326	7,506.4	6,716.3	790.1
R2	2,017	1,764	253	6,846.8	6,137.2	709.7
R3	1,935	1,694	241	6,563.5	5,844.5	719.0
R4	1,926	1,704	222	6,767.2	6,025.7	741.5

（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

（４） 走行距離 1 億キロあたり事業用自動車の業態別交通死亡事故件数の推移

走行距離あたりの事業用自動車の交通死亡事故件数は、令和４年は前年と比べて乗合バスとトラックは減少し、貸切バスとタクシーは増加している。

〔表 16〕 事業用自動車の業態別走行距離と交通死亡事故件数の推移

年＼区分	死亡事故件数（件）						走行キロ（億km）				
	バス				タクシー	トラック	バス			タクシー	トラック
		乗合	貸切	その他				乗合	貸切		
H25	17	13	3	1	40	361	46.0	30.5	15.5	111.4	650.1
H26	17	14	3	0	42	349	45.8	31.2	14.6	108.8	653.9
H27	17	14	3	0	49	333	45.5	31.8	13.8	105.4	653.7
H28	11	6	4	1	50	275	44.5	31.5	13.0	100.1	652.5
H29	15	11	3	1	39	290	43.9	31.3	12.6	96.7	652.8
H30	16	13	3	0	46	266	42.4	30.2	12.1	91.5	657.6
R1	14	5	9	0	47	265	42.4	30.3	12.1	85.1	662.5
R2	10	9	0	1	16	227	32.2	26.6	5.6	55.5	622.0
R3	9	8	1	0	11	221	27.7	23.1	4.6	47.5	643.8
R4	4	2	2	0	22	196	31.9	25.2	6.7	55.5	654.1

出典：警察庁「交通統計」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

１－５．飲酒運転による事業用自動車の交通事故の推移

飲酒運転による事業用自動車の交通事故は、平成 25 年から横ばい傾向となっている。なお、令和４年はトラックが 34 件、タクシーが３件となっている。

〔表 17〕　業態別飲酒運転による交通事故件数（件）

年＼区分	交通事故件数						
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	合計
H25	0	0	0	0	11	40	51
H26	0	0	0	0	7	42	49
H27	0	0	0	0	4	49	53
H28	0	0	0	0	6	48	54
H29	0	0	0	0	4	41	45
H30	0	0	0	0	6	34	40
R1	0	0	0	0	8	48	56
R2	0	0	0	0	0	36	36
R3	0	0	0	0	3	32	35
R4	0	0	0	0	3	34	37

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

〔表 18〕　業態別飲酒運転による交通死亡事故件数の推移（件）

年＼区分	交通死亡事故件数						
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	合計
H25	0	0	0	0	0	6	6
H26	0	0	0	0	1	5	6
H27	0	0	0	0	0	5	5
H28	0	0	0	0	0	1	1
H29	0	0	0	0	0	4	4
H30	0	0	0	0	0	2	2
R1	0	0	0	0	0	6	6
R2	0	0	0	0	0	4	4
R3	0	0	0	0	0	4	4
R4	0	0	0	0	0	0	0

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

１－６．業態別運転者年齢層別の交通事故

（１） 業態別運転者年齢層別交通事故件数

交通事故第１当事者の年齢分布を業態別にみると、バスやトラックは同じ傾向となっており、タクシーは比較的高齢側に分布している。なお、タクシーは他の２業態と比較して運転者全体の平均年齢が高い。

〔表 19〕　業態別運転者年齢層別交通事故件数（件）（令和４年）

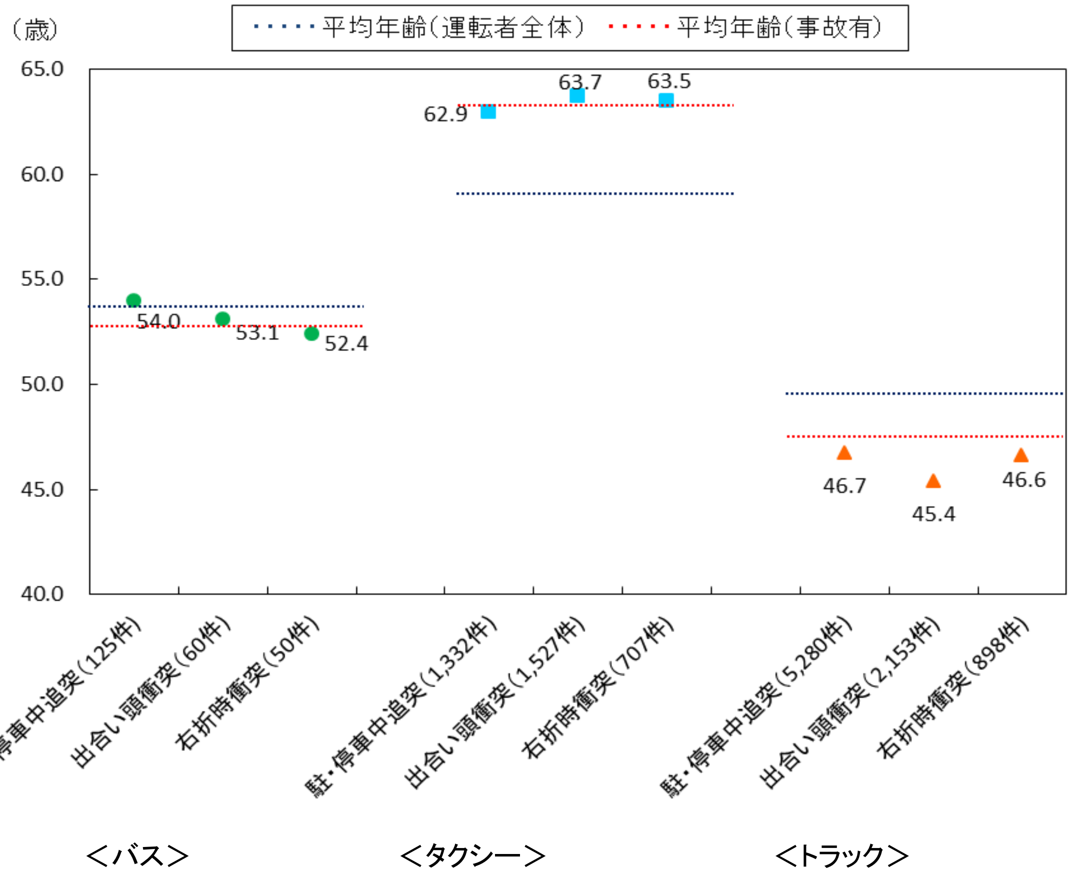
		20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上	合計
バス	乗合	0	13	30	29	38	72	106	162	179	117	41	16	0	803
	貸切	0	0	3	2	7	4	11	15	23	19	16	16	2	118
	その他	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	1	1	0	7
	小計	0	13	33	31	45	77	117	178	204	137	58	33	2	928
タクシー	法人	0	80	96	100	115	150	360	592	861	1,154	1,241	1,644	876	7,269
	個人	0	0	3	0	1	6	18	47	62	72	109	184	116	618
その他乗用		0	4	3	6	1	6	4	12	8	6	4	4	3	61
小計		0	84	102	106	117	162	382	651	931	1,232	1,354	1,832	995	7,948
貨物自動車	大型	1	100	220	205	283	410	671	788	666	460	227	104	29	4,164
	中型	0	84	119	93	172	228	385	471	391	297	158	91	19	2,508
	準中型	17	179	206	145	164	170	259	304	306	201	119	96	20	2,186
	普通	9	65	38	33	35	40	62	62	57	46	34	28	4	513
	軽	91	804	653	427	374	380	425	512	439	351	247	197	112	5,012
	小計 （トレーラ）	118 (2)	1,232 (13)	1,236 (46)	903 (43)	1,028 (43)	1,228 (86)	1,802 (145)	2,137 (169)	1,859 (148)	1,355 (94)	785 (45)	516 (20)	184 (4)	14,383 (858)
合計		118	1,329	1,371	1,040	1,190	1,467	2,301	2,966	2,994	2,724	2,197	2,381	1,181	23,259

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 業態別事故類型別事故第１当事者平均年齢

事故第1当事者の平均年齢と運転者全体の平均年齢及び事故有運転者の平均年齢を比較すると、バスは事故類型を問わず運転者全体の平均年齢及び事故有運転者の平均年齢とほぼ同水準、タクシーは事故類型を問わず事故有運転者の平均年齢とほぼ同水準、トラックは事故類型を問わず事故有運転者の平均年齢より低い年齢となっている。

〔図 1〕業態別事故類型別事故第１当事者の運転者平均年齢（車両との事故）（令和４年）



※（ ）内は事故件数

※事故第１当事者の運転者の平均年齢は、年齢層毎の年齢の加重平均により算出
※上記事故類型は「車両との事故」の事故類型から事故件数の多い3つを抽出

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
厚生労働省「令和４年賃金構造基本統計調査（全国）」

１－７．業態別危険認知速度別の交通事故

（１） 業態別危険認知速度別交通事故件数

業態別の危険認知速度別交通事故件数をみると、いずれの業態も10km/h以下が最も多く、バスとタクシーは全件数の約半数を占めている。表20に認知速度別交通事故件数を示す。

〔表 20〕 業態別危険認知速度別交通事故件数（件）（令和４年）

速度＼区分	交通事故件数						
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	合計
10km/h以下	420	368	51	1	3,929	5,247	10,016
20km/h以下	199	172	24	3	1,968	2,653	5,019
30km/h以下	141	124	15	2	890	1,550	2,722
40km/h以下	111	96	15	0	676	1,822	2,720
50km/h以下	36	27	9	0	317	1,438	1,827
60km/h以下	8	7	0	1	113	834	963
70km/h以下	3	2	1	0	16	284	306
80km/h以下	2	1	1	0	11	316	331
90km/h以下	6	4	2	0	2	146	160
100km/h以下	0	0	0	0	2	44	46
120km/h以下	1	1	0	0	1	4	7
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0
不明	1	1	0	0	23	45	70
合計	928	803	118	7	7,948	14,383	23,259

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 業態別危険認知速度別交通死亡事故件数

表21に業態別危険認知速度別交通死亡事故件数を示す。業態別でみると、バスは10km/h～20km/h以下、タクシーは40km/h～50km/h以下、トラックは10km/h～20km/h以下が最も多くなっている。

〔表 21〕 業態別危険認知速度別交通死亡事故件数（件）（令和４年）

速度＼区分	交通死亡事故件数						
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	合計
10km/h以下	0	0	0	0	3	16	19
20km/h以下	2	1	1	0	2	38	42
30km/h以下	0	0	0	0	3	14	17
40km/h以下	0	0	0	0	3	19	22
50km/h以下	0	0	0	0	5	24	29
60km/h以下	0	0	0	0	3	27	30
70km/h以下	0	0	0	0	1	16	17
80km/h以下	1	1	0	0	0	20	21
90km/h以下	1	0	1	0	1	14	16
100km/h以下	0	0	0	0	0	6	6
120km/h以下	0	0	0	0	1	0	1
120km/h超	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	2	2
合計	4	2	2	0	22	196	222

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

１－８．業態別時間帯別の交通事故

（１） 業態別時間帯別交通事故件数

業態別の時間帯別交通事故件数をみると、乗合バスは16時～17時台、貸切バスは８時～９時台、タクシーは18時～19時台、トラックは８時～９時台が最も多い。

〔表 22〕 業態別時間帯別交通事故件数（件）（令和４年）

区分＼時間帯		0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
バス	乗合	0	0	4	60	127	111	110	118	140	87	35	11	803
	貸切	0	1	1	15	22	15	11	17	18	10	6	2	118
	その他	0	0	0	1	3	0	0	1	1	1	0	0	7
	小計	0	1	5	76	152	126	121	136	159	98	41	13	928
タクシー	法人	433	311	196	353	839	774	699	704	814	854	685	607	7,269
	個人	45	27	8	29	71	55	54	50	76	74	73	56	618
その他乗用		1	1	1	3	11	11	12	4	8	4	3	2	61
小計		479	339	205	385	921	840	765	758	898	932	761	665	7,948
トラック	大型	117	132	198	462	697	629	520	468	375	232	168	166	4,164
	中型	71	71	146	281	431	393	325	277	216	130	102	65	2,508
	準中型	41	42	89	226	417	404	313	288	199	90	46	31	2,186
	普通	5	9	11	42	88	111	67	84	53	23	12	8	513
	軽	43	33	78	316	684	776	640	672	670	653	345	102	5,012
	小計	277	287	522	1,327	2,317	2,313	1,865	1,789	1,513	1,128	673	372	14,383
合計		756	627	732	1,788	3,390	3,279	2,751	2,683	2,570	2,158	1,475	1,050	23,259

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 業態別時間帯別交通死亡事故件数

業態別の時間帯別交通死亡事故件数をみると、乗合バスと貸切バスは10時～11時台と14時～15時台、タクシーは0時～１時台、トラックは４時～５時台が最も多い。

〔表 23〕 業態別時間帯別交通死亡事故件数（件）（令和４年）

区分＼時間帯		0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
バス	乗合	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	貸切	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	4
タクシー	法人	6	0	3	0	0	1	1	0	0	1	2	5	19
	個人	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
その他乗用		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		6	1	3	0	0	1	2	0	1	1	2	5	22
トラック	大型	10	14	12	7	9	8	13	6	4	7	2	10	102
	中型	7	4	6	3	3	2	2	0	2	2	1	2	34
	準中型	3	2	3	1	6	3	4	1	0	1	2	2	28
	普通	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	5
	軽	1	2	5	5	2	2	1	0	2	5	1	1	27
	小計	21	23	26	17	20	15	20	7	8	15	7	17	196
合計		27	24	29	17	20	18	22	9	9	16	9	22	222

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

１－９．交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通事故件数

（１） 交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通事故件数

〔表 24〕 交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通事故件数（件）（令和４年）

事業の種類／都道府県	バス								タクシー		トラック		合計	
			乗合		貸切		その他							
北海道	33	(10)	26	(10)	7	(5)	0	(4)	469	(5)	442	(10)	944	(9)
青森県	10	(15)	8	(17)	2	(14)	0	(4)	44	(21)	81	(31)	135	(29)
岩手県	5	(27)	4	(27)	1	(20)	0	(4)	26	(29)	51	(40)	82	(40)
宮城県	9	(17)	7	(18)	2	(14)	0	(4)	104	(14)	177	(16)	290	(15)
秋田県	2	(41)	2	(35)	0	(35)	0	(4)	16	(38)	35	(43)	53	(44)
山形県	3	(36)	2	(35)	1	(20)	0	(4)	25	(31)	64	(37)	92	(38)
福島県	4	(31)	2	(35)	2	(14)	0	(4)	26	(29)	117	(22)	147	(27)
茨城県	7	(21)	4	(27)	1	(20)	2	(2)	30	(26)	365	(11)	402	(12)
栃木県	8	(19)	5	(21)	3	(9)	0	(4)	15	(40)	154	(18)	177	(21)
群馬県	6	(23)	5	(21)	1	(20)	0	(4)	49	(18)	266	(13)	321	(14)
埼玉県	41	(8)	33	(9)	5	(7)	3	(1)	223	(8)	1,230	(3)	1,494	(4)
千葉県	55	(5)	45	(7)	10	(2)	0	(4)	203	(9)	770	(6)	1,028	(8)
東京都	168	(1)	146	(1)	21	(1)	1	(3)	2,359	(1)	1,546	(2)	4,073	(1)
神奈川県	134	(2)	124	(2)	10	(2)	0	(4)	576	(4)	1,218	(4)	1,928	(3)
新潟県	6	(23)	5	(21)	1	(20)	0	(4)	23	(32)	104	(26)	133	(30)
富山県	2	(41)	2	(35)	0	(35)	0	(4)	10	(44)	86	(29)	98	(36)
石川県	5	(27)	5	(21)	0	(35)	0	(4)	31	(24)	67	(35)	103	(34)
福井県	2	(41)	2	(35)	0	(35)	0	(4)	5	(46)	36	(42)	43	(45)
山梨県	2	(41)	1	(42)	1	(20)	0	(4)	14	(41)	54	(39)	70	(41)
長野県	4	(31)	1	(42)	3	(9)	0	(4)	39	(22)	117	(22)	160	(22)
岐阜県	4	(31)	1	(42)	3	(9)	0	(4)	20	(35)	161	(17)	185	(18)
静岡県	28	(11)	25	(11)	3	(9)	0	(4)	196	(10)	563	(9)	787	(10)
愛知県	50	(7)	46	(6)	4	(8)	0	(4)	356	(6)	1,000	(5)	1,406	(6)
三重県	3	(36)	3	(33)	0	(35)	0	(4)	16	(38)	137	(19)	156	(24)
滋賀県	2	(41)	1	(42)	1	(20)	0	(4)	17	(37)	106	(25)	125	(31)
京都府	51	(6)	49	(5)	2	(14)	0	(4)	165	(11)	274	(12)	490	(11)
大阪府	64	(3)	54	(4)	10	(2)	0	(4)	1,100	(2)	1,883	(1)	3,047	(2)
兵庫県	57	(4)	55	(3)	2	(14)	0	(4)	309	(7)	712	(8)	1,078	(7)
奈良県	2	(41)	1	(42)	1	(20)	0	(4)	14	(41)	135	(20)	151	(25)
和歌山県	4	(31)	4	(27)	0	(35)	0	(4)	14	(41)	74	(33)	92	(38)
鳥取県	0	(47)	0	(47)	0	(35)	0	(4)	3	(47)	29	(45)	32	(47)
島根県	5	(27)	4	(27)	1	(20)	0	(4)	7	(45)	24	(47)	36	(46)
岡山県	9	(17)	9	(14)	0	(35)	0	(4)	39	(22)	201	(15)	249	(16)
広島県	11	(13)	9	(14)	2	(14)	0	(4)	111	(13)	208	(14)	330	(13)
山口県	6	(23)	6	(19)	0	(35)	0	(4)	30	(26)	66	(36)	102	(35)
徳島県	3	(36)	2	(35)	1	(20)	0	(4)	21	(34)	41	(41)	65	(42)
香川県	5	(27)	4	(27)	1	(20)	0	(4)	45	(20)	109	(24)	159	(23)
愛媛県	3	(36)	2	(35)	1	(20)	0	(4)	29	(28)	73	(34)	105	(33)
高知県	4	(31)	4	(27)	0	(35)	0	(4)	20	(35)	35	(43)	59	(43)
福岡県	40	(9)	34	(8)	6	(6)	0	(4)	652	(3)	757	(7)	1,449	(5)
佐賀県	7	(21)	6	(19)	1	(20)	0	(4)	22	(33)	92	(28)	121	(32)
長崎県	22	(12)	22	(12)	0	(35)	0	(4)	75	(15)	86	(29)	183	(19)
熊本県	8	(19)	5	(21)	3	(9)	0	(4)	53	(17)	122	(21)	183	(19)
大分県	3	(36)	3	(33)	0	(35)	0	(4)	31	(24)	64	(37)	98	(36)
宮崎県	6	(23)	5	(21)	1	(20)	0	(4)	57	(16)	78	(32)	141	(28)
鹿児島県	11	(13)	11	(13)	0	(35)	0	(4)	46	(19)	94	(27)	151	(25)
沖縄県	10	(15)	9	(14)	1	(20)	0	(4)	158	(12)	27	(46)	195	(17)
計	928		803		118		7		7,948		14,383		23,259	

注１：数値横のカッコ内は順位
注２：都道府県合計には、不明を含む

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

（２） 交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通死亡事故件数

〔表 25〕交通事故に関わる営業所の位置（都道府県）別の交通死亡事故件数（件）（令和４年）

事業の種類 / 都道府県	バス				タクシー	トラック	合計
		乗合	貸切	その他			
北海道	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	7 (9)	7 (11)
青森県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	0 (40)	0 (42)
岩手県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	2 (26)	2 (26)
宮城県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	1 (6)	3 (18)	4 (16)
秋田県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	1 (33)	1 (35)
山形県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	1 (33)	1 (35)
福島県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	5 (13)	5 (14)
茨城県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	12 (3)	12 (6)
栃木県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	7 (9)	7 (11)
群馬県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	3 (18)	3 (22)
埼玉県	1 (1)	0 (4)	1 (1)	0 (1)	0 (15)	14 (2)	15 (3)
千葉県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	1 (6)	12 (3)	13 (4)
東京都	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	4 (1)	12 (3)	16 (2)
神奈川県	1 (1)	0 (4)	1 (1)	0 (1)	1 (6)	11 (6)	13 (4)
新潟県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	3 (18)	3 (22)
富山県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	4 (15)	4 (16)
石川県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	2 (26)	2 (26)
福井県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	1 (33)	1 (35)
山梨県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	3 (18)	3 (22)
長野県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	2 (26)	2 (26)
岐阜県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	2 (26)	2 (26)
静岡県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	2 (3)	4 (15)	6 (13)
愛知県	1 (1)	1 (1)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	8 (8)	9 (8)
三重県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	4 (15)	4 (16)
滋賀県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	2 (26)	2 (26)
京都府	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	2 (26)	2 (26)
大阪府	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	3 (2)	21 (1)	24 (1)
兵庫県	1 (1)	1 (1)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	7 (9)	8 (10)
奈良県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	0 (40)	0 (42)
和歌山県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	0 (40)	0 (42)
鳥取県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	0 (40)	0 (42)
島根県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	1 (33)	1 (35)
岡山県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	1 (6)	3 (18)	4 (16)
広島県	1 (1)	1 (1)	0 (3)	0 (1)	2 (3)	6 (12)	9 (8)
山口県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	5 (13)	5 (14)
徳島県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	0 (40)	0 (42)
香川県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	1 (33)	1 (35)
愛媛県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	1 (6)	3 (18)	4 (16)
高知県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	0 (40)	0 (42)
福岡県	1 (1)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	1 (6)	9 (7)	11 (7)
佐賀県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	2 (26)	2 (26)
長崎県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	1 (6)	0 (40)	1 (35)
熊本県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	3 (18)	3 (22)
大分県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	0 (15)	1 (33)	1 (35)
宮崎県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	1 (6)	3 (18)	4 (16)
鹿児島県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	2 (3)	0 (40)	2 (26)
沖縄県	0 (7)	0 (4)	0 (3)	0 (1)	1 (6)	1 (33)	2 (26)
計	4	2	2	0	22	196	222

注１：数値横のカッコ内は順位
注２：都道府県合計には、不明を含む

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

２．まとめ

令和４年中に全国で発生した事業用自動車の交通事故件数は 23,259 件で、そのうち交通死亡事故件数は 222 件、死者数は 228 人であり、前年と比べて交通事故件数は増加し、交通死亡事故件数は減少している。

なお、令和４年及び令和５年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響に留意する必要がある。

各業態における特徴は以下のとおり。

〇乗合バス

乗合バスの交通事故件数は近年減少傾向となっていたが、令和４年は 803 件と、前年と比べて 23 件増加している。

・「他車との事故」や「単独事故」が多く、合計で 665 件と約 83％を占めている。また、「単独事故」のうち約 78％が「車内事故」である。

・乗合バスの交通事故の中で最も多い「車内事故」246 件のうち、102 件が「発進時」、66 件が「直進（加速、等速、減速）時」、59 件が「急停止時」に発生している。また、「車内事故」による負傷者は 270 人おり、半数（135 人）を高齢者（65 歳以上）が占めている。なお、男性に比べて女性の負傷者数は 4.1 倍となっている（男性 53 人、女性 217 人）。

また、乗合バスの交通死亡事故件数は、令和４年は２件と、前年と比べて６件減少している。内訳は、「人との事故」が１件、「単独事故」が１件である。

〇貸切バス

貸切バスの交通事故件数は近年減少傾向となっていたが、令和４年は 118 件と、前年と比べて 26 件増加した。

・「他車との事故」が多く、103 件と約 87％を占めている。このうち、約 37％が「追突事故」である。

・貸切バスの交通事故の中で最も多い「追突事故」38 件のうち、「第一通行帯」での発生が 16 件、「第二通行帯以上」での発生が９件となっている。

また、貸切バスの交通死亡事故は、令和３年は１件であったが、令和４年は２件で、「出会い頭事故」と「車両単独事故」となっている。

〇タクシー

タクシーの交通事故件数は近年減少傾向となっていたが、令和４年は 7,948 件と、前年と比べて 827 件増加した。

・「他車との事故」が多く、5,882 件と約 74％となっている。このうち、約 26％が「出合い頭衝

突事故」である。
・タクシーの交通事故の中で最も多い「出合い頭衝突事故」1,527 件のうち、「交差点内」での発生が 1,356 件となっている。
・なお、タクシーの交通事故のうち、5,896 件（74.2%）が空車時に発生している。

また、タクシーの交通死亡事故件数は近年横ばいで推移していたが、令和４年に増加に転じ、令和４年は 22 件と、前年と比べて 11 件増加している。
・「人との事故」が 14 件、「他車との事故」が５件となっている。また、「路上横臥中」での発生が８件となっている。

〇トラック

トラックの交通事故は令和３年に増加に転じ、令和４年は 14,383 件と、前年と比べて約３％増加している。
・「他車との事故」が多く、12,993 件と約 90%を占めている。このうち、約 46%が「追突事故」である。
・トラックの交通事故の中で最も多い「追突事故」を発生時間帯で分類すると、６時～17 時台が 4,756 件と約 80%を占めており、このうち８時～９時台が 965 件と最多になっている。また、危険認知速度で分類すると、10km/h 以下の低速が 1,518 件と約 26%を、30km/h～40km/h 以下の中速が 1,081 件と約 18%を占めている。発生地点で分類すると、「第一通行帯」での発生が 3,156 件と約 53%を占めている。

また、トラックの交通死亡事故は近年減少傾向となっており、令和４年は 196 件と、前年と比べて 25 件減少した。
・「人との事故」や「他車との事故」が多く、合計で 171 件と約 87%を占めている。
・「他車との事故」のうち、「追突」が 31 件、「すれ違い時衝突、左折時衝突、右折時衝突」が 20 件、「出合い頭衝突」が 16 件、となっている。
・「人との事故」を発生地点で分類すると、「交差点内」での発生が 39 件、「第一通行帯」での発生が 26 件となっている。

また、飲酒運転による事業用自動車の交通事故は、平成 25 年から横ばい傾向となっており、令和４年は 37 件と、前年と比べて２件増加した。なお、令和４年はトラックが 34 件、タクシーが３件であり、バスは０件となっている。